

南会津 のうりんニュース



今月の写真：南泉寺のしだれ桜(田島地域)

今年の冬は例年より暖かく、春の息吹も少し早めに感じられたようです。南会津の桜も一足早くその艶姿を魅せてくれました。桜吹雪に抱かれながら、時を忘れるひとときです。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・「道の駅しもごう」いよいよオープン!!
 - ・音金農地・水・環境保全組合が「優良活動組織表彰」受賞!!
 - ・県指導農業士に只見町の三瓶清志さんが認定されました!!
 - ・県産米粉商品プレゼンテーション会
 - ・南会津地方みんなで作る鳥獣害に強い里づくり推進事業現地研修会開催!
 - ・あさひっ子タイム発表会
- お知らせ
 - ・緑の募金のお願い
 - ・山火事防止に向けて
 - ・平成21年度福島県農業総合センター農業短期大学校研修のお知らせ
 - ・人事異動のお知らせ
 - ・就農相談を実施しています
 - ・南会津地方防霜対策本部を設置しました。
 - ・ヒューマンエラーをなくそう
 - ・南会津のうりんニュースに広告を掲載しませんか?

平成21年4月28日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス



「道の駅しもごう」

いよいよオープン!!



木材の暖かみある建物となった道の駅しもごう

話題性のある道の駅「何度も行きたい道の駅」「わざわざ行きたい道の駅」の3つをメインテーマに、南会津郡下郷町、国道289号甲子道路沿線に「道の駅しもごう(愛称:しもごう Ematto エマット)」が4月27日に開所式、5月18日には開所祝賀会を迎えます。

この「道の駅しもごう」には、下郷町を中心とした地元の農産物を販売する直売所や手工芸品等を集めた物産店が設けられるほか、「郷土色ある下郷のお母さんの知恵を!!」をテーマにした「レストラン みくら三倉」では、十文字そば生産組合の手打ちそばを販売する予定です。

また、地産地消にも積極的に取り組み、地元で飼育したジャージー牛の生乳を使い、鶴ヶ池加工組合が作ったソフトクリーム「しもごうジャージーソフト」や「会津地鶏親子丼」のほか、下郷町の郷土食である「しんごろう」がテイクアウトメニューとして並びます。隣接するオープンスペースでは「ゆっくりくつろげる」と目指し、会津本郷焼のカップと厳選豆を使用した「こだわりのコーヒー」等を提供します。さらに、この道の駅では、朝から頑張るビジネスパーソンのために朝ご飯も用意しています。

南会津と県南を結ぶ甲子道路のオアシスとして、「道の駅しもごう」は、南会津地域の更なる発展に繋がっていくことが期待されます。みなさんも是非エマットにお越しください!!

(企画部・農業振興普及部)

主な商品	下郷町を中心とした農産物・山菜、オリジナル絵ロウソク(カタクリ、リンドウ、フジ、山桜)等の手工芸品、こだわりのコーヒー
営業時間	8:00~18:30(4月~11月) 8:00~17:30(12月~3月) ※12月31日、1月1日は閉店
所 在	南会津郡下郷町大字南倉沢字木賊844-188
アクセス	白河方面…国道4号から 国道289号を35分 会津方面…下郷町役場から 国道289号を10分
問い合わせ	道の駅しもごう 電話0241-67-3802

音金農地・水・環境保全組合が 「優良活動組織表彰」受賞!!

平成21年3月8日に福島市の県土地改良会館で行われた平成19年度優良活動組織表彰において、下郷町の音金農地・水・環境保全組合をはじめ15の活動組織が表彰されました。これは、農業者だけでなく、地域住民や自治体、関係団体等が幅広く参加する組織を新たに作り、保全活動や農村の自然、景観を守る地域共同活動を支援することを目的に、県内595組織において取り組まれている活動に対するものです。

音金農地・水環境保全組合では、子どもからお年寄りまで幅広く興味を引く魚のつかみ取りや、パックテストでの水質調査等、演出を伴った交流活動が地域コミュニティの向上に大きく寄与したことや、自主施工により用排水路の布設替えを行う等、高度な農地・水向上活動に取り組んだことが評価され、受賞となりました。

組合を代表して、弓田市治副代表と佐藤吉平会計が出席し、賞状や副賞の盾が手渡されました。また、佐藤さんは、「ふくしま むらの輝き2008」写真コンテストにも入選し、ダブル受賞となりました。

今後も、音金集落や周辺地域が有する農地・水・環境をみんなで守ることの大切さに理解を深め、更なる地域活性化へと繋がっていくことを期待しています。
(農村整備部)



表彰を受ける佐藤さん(左)と弓田さん(右)

県産米粉商品プレゼンテーション会

県では、新規需要米の1つとして注目されている米粉の消費拡大につなげるため、県内の飲食店や菓子製造業等の方々に米粉を提供し、商品開発をお願いしました。その商品の発表の場としてプレゼンテーション会が、3月25日福島市の「サンパレス福島」において行われ、当管内では、以下の皆さんから商品開発に係る発表をしていただきました。



美味しい料理がたくさん並びました

出品者	開発メニュー名
まんまパン 福田純子さん(南会津町)	りんごの米粉タルト
シェやまのべ 山野辺宏さん(下郷町)	米粉ニョッキのグラタン 米粉ニョッキのフリット
藤の郷よろっしえ加工部会 代表 渡部千恵子さん(下郷町)	米粉やせ馬

会場には、商品開発者だけではなく、食品関係卸業者や一般の方等、約110名が参加したほか、テレビ局の取材等も入り、盛大な会となりました。

今回のプレゼンテーションでは、28団体41品の商品が紹介され、そのレシピも一部を除いて公開されています。レシピの中には、家庭で簡単に作れるものもありますので、今、注目の米粉を、是非ご家庭のメニューに活用ください。

今後も県としましては、国内自給率向上のためにも米粉の普及を推進していきます。

(農業振興普及部)

レシピはこちらから

<http://www.pref.fukushima.jp/an-ryu/20komeko/20komeko-recipe.htm> (農林水産部HP)

<http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/info/info5.htm> (南会津農林事務所HP)

県指導農業士に只見町の 三瓶清志さんが認定されました!!



証書を受け取る三瓶さん

去る2月10日、郡山市熱海町において福島県指導農業士認定交付式が行われ、只見町で水稲とトマトの経営を行う三瓶清志さんが新しく認定を受けました。

指導農業士は、優れた農業経営を自ら行うとともに、若い農業者の育成や県農業短期大学の研修受け入れ等、優れた農業後継者の育成に指導的役割を果たしている農業者が認定されています。

三瓶さんは、平成18年に法人化し、水稲と夏秋トマトを柱とした経営の拡大と安定化を図っています。南郷トマト生産組合においても要職に就いており、今後は地域のリーダーとして更なる活躍が期待されています。
(農業振興普及部)

南会津地方みんなで作る鳥獣害に 強い里づくり推進事業現地研修会開催!

日光市では、鳥獣害対策にユニークな取り組みを行っているとの話を伺い、去る3月23日に一般



ヤギの効果や扱いについて説明される石川正美さん

住民、JA、町等27名が参加のもと、現地研修会を行いました。

最初に市内事務所にて、日光市役所の方から「耕作放棄地へのヤギ放牧活動助成事業」と「さと山パトロール事業」について、

(3ページに続く)

(2ページから続く)

説明をいただきました。前者は、①「酪農者にヤギを飼育してもらい、耕作放棄地にそのヤギをレンタル放牧し除草を行う」②「放牧によって蘇った農地に、野生獣の嗜好性が低い農作物の作付を推進する」というもので、市がヤギの導入費などを助成する内容です。後者は「居住地周辺の農地と山林の境界付近を、市民が自分の飼育する犬とともに散歩を兼ねたパトロールをしていただく」というもので「この事業のために新たに犬を飼う場合、市は基礎的な訓練費、狂犬病予防の登録料・予防接種費などを助成する」という内容です。

説明の後、ヤギを飼育している酪農家の石川正美さんの畜舎を訪問しました。石川さんからは、①「導入したシバヤギは、体は小さいが草を食べる能力は高い」②「匂いが強く、これが獣に効くのではないか」③「耕作放棄地にヤギを入れることにより、今まで荒れていた土地に人々の注目が集まり、これがまず大きな効果だと感じている」等、実際にヤギの扱い方の実演も交えながら、お話いただきました。

参加した皆さんも、熱心に説明に聞き入ったり、質問されたりと、有意義な情報交換を行いました。

日光市での事業の具体的な評価はこれからとのことですが、市役所の方も「何か住民自らができることから始めたい。そのために知恵を絞っている」と話されていました。

この研修をきっかけに、私たちも、獣に負けない、なにかユニークな対策を、一緒に考えていきましょう。
(農業振興普及部)

あさひっ子タイム発表会

只見町立朝日小学校で

は今年度の学習のまとめとして、去る3月4日、授業参観の中で「あさひっ子タイム発表会」と題した



元気いっぱい発表する児童

各学年の生活や総合の時間の活動の発表会を行いました。その中で、3年生は町や農林事務所等と共に「只見の生き物調査」を行い、自然や生き物の共生について学んだことについて発表を行いました。

児童はカエルや白鳥等様々な生物に扮し、生物チームと人間チームに分かれてそれぞれの立場からディベート(討論)を行いました。

普段何気なく踏み荒らしてしまっている生物の住みかですが、学習を経た子どもたちの瞳には、今までとは違った世界が見えたようです。討論の中で、鉛筆を作るために木が伐採されている話が出ました。森の木々は生物にとって大切な住みかです。「自分の家と鉛筆とどちらが大事? 私は家の方が大事よ。」その言葉には参観した大人も考えさせられたのではないのでしょうか。

まとめとして、「みんなも同じ生きもの。地球温暖化も同じ目線で行動して欲しい。」と先生からお話があり、児童はもちろん、保護者も共に地域や地球の環境について再考する機会となった発表会でした。

(企画部・農業振興普及部・農村整備部)

農林事務所からお知らせ

緑の募金のお願い ～広げよう 緑は地球の宝物～

緑豊かな潤いのある美しい南会津を創るため、緑の募金運動が実施されています。

昨年は、南会津郡全体で200万円を超える募金が集まり、地方植樹祭や緑の教室の開催、緑の少年団の活動、地域の緑化などに使われました。

今年も、春季(4月～5月)と秋季(9月～10月)を「緑の募金運動推進期間」として、緑の募金運動を実施しますので、ご協力をお願いします。

(森林林業部)

山火事防止に向けて

～見直そう 森の恵みと 火の始末～

空気が乾燥し、山火事が多くなる季節となりました。

今年は、早い時期に雪が消えたせいもあり、南会津郡内で既に2件の山火事が発生しています。

風の強い日は火を扱う作業を延期するなど、野外で火を扱うときは、その取扱いに十分に注意してください。

また、「たばこの投げ捨てをしない」「たき火は完全に消火したことを確認する」など、火の始末について皆で注意し合い、大切な森林を後世に引き継ぎましょう。
(森林林業部)

平成21年度福島県農業総合センター農業短期大学校研修のお知らせ

福島県農業総合センター農業短期大学校では、地域を担う農業者を育成するため、農業機械研修、農産加工研修、就農研修など各種研修を実施しています。

詳細については右記ホームページを参照ください。

<http://www.pref.fukushima.jp/nougoutandai/kens/kensyu1.htm>(農業短期大学校ホームページ)

なお、お問い合わせは農業振興普及部伊藤までお願いします。

電話0241-62-5264 (農業振興普及部)

人事異動のお知らせ 4月の人事異動等により23名が転出し、21名が新たに配属となりました。

転入者 (カッコ内は旧所属です)	
	目黒久一郎(南会津地方振興局)
●総務部	三瓶裕司(新採用)
●企画部	白井一隆(会津保健福祉事務所)
●農業振興普及部 (南郷普及所)	松本登(生産流通総室)、渡邊史夫(県中農林事務所)、渡部隆(農業総合センター会津地域研究所) 吉田文弘(会津農林事務所会津坂下農業普及所)、佐藤光洋(会津農林事務所)、重松智美(新採用) 皆川博孝(農業総合センター)
●農村整備部	山内冬彦(相双農林事務所)、松本幸治(田村ほ場整備事務所)、千葉正(県中農林事務所)
●森林林業部	山田光寿(いわき農林事務所)、佐藤豊八(会津農林事務所)、白田康之(森林林業総室)、酒井雄二(同左) 益子利江(相双農林事務所)、佐久間一男(会津農林事務所)、大関康二(同左)、安齊裕一(同左)

転出者 (カッコ内は転出先です)	
	飯野雄太郎(退職)
●総務部	室井充夫(南会津地方振興局)、佐藤雄一(同左)
●企画部	浅沼正人(会津保健福祉事務所)
●農業振興普及部 (南郷普及所)	小山喜男(退職)、増子良一(相双農林事務所双葉農業普及所)、飯塚博榮(農業総合センター) 味戸裕幸(県中農林事務所)、内田研一(会津農林事務所喜多方農業普及所)、菅家伸(南会津建設事務所) 三森裕(相双農林事務所) 諸橋武明(いわき農林事務所)
●農村整備部	宗形弘康(富岡用水改良事務所)、宍戸潤一(農村整備総室)、五十嵐幸良(会津南部ほ場整備事務所)
●森林林業部	加藤政樹(森林林業総室)、鈴木比良(森林林業総室)、大竹国義(会津農林事務所)、小池陽子(森林林業総室)、 内海享(林業研究センター)、高村芳夫(森林林業総室)、湯田信介(会津農林事務所)、高畑純(同左)

就農相談を実施しています

農業振興普及部では、新たに農業を始める人のために就農相談を実施しています。

毎月19日(19日が土・日曜日、祝日の場合は19日以降最初の勤務日)を重点相談日としておりますが、重点相談日以外も対応いたします。お気軽に相談してください。

電話 0241-62-5264 (農業振興普及部)

南会津地方防霜対策本部を設置しました

平成21年4月14日から6月5日までの期間、南会津農林事務所では「南会津地方防霜対策本部」を設置し、防霜対策技術などについて情報提供等を行います。遅霜のシーズンとなりました。農作物の管理には十分注意してください。

電話 0241-62-5264 (農業振興普及部)

ヒューマンエラーをなくそう

春の農作業安全運動実施中です。「ヒューマンエラーをなくそう」のスローガンの下、平成21年4月20日～5月31日まで実施しています。農作業には十分お気をつけください。

(農業振興普及部)

南会津のうりんニュースに広告を掲載しませんか?

福島県は、積極的な広告事業により、民間企業等と協働して県民サービスの向上及び地域経済の活性化の推進を図る目的で広告事業を行っております。

「南会津のうりんニュース」(平成21年6月号から随時掲載予定)においても広告を掲載しますので、掲載を希望される方は下記までお問い合わせください。 電話 0241-62-5252 (企画部 白井)

お問い合わせ先はこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

バックナンバーはこちらから



ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌は SOY(大豆油)インキを使用しています。